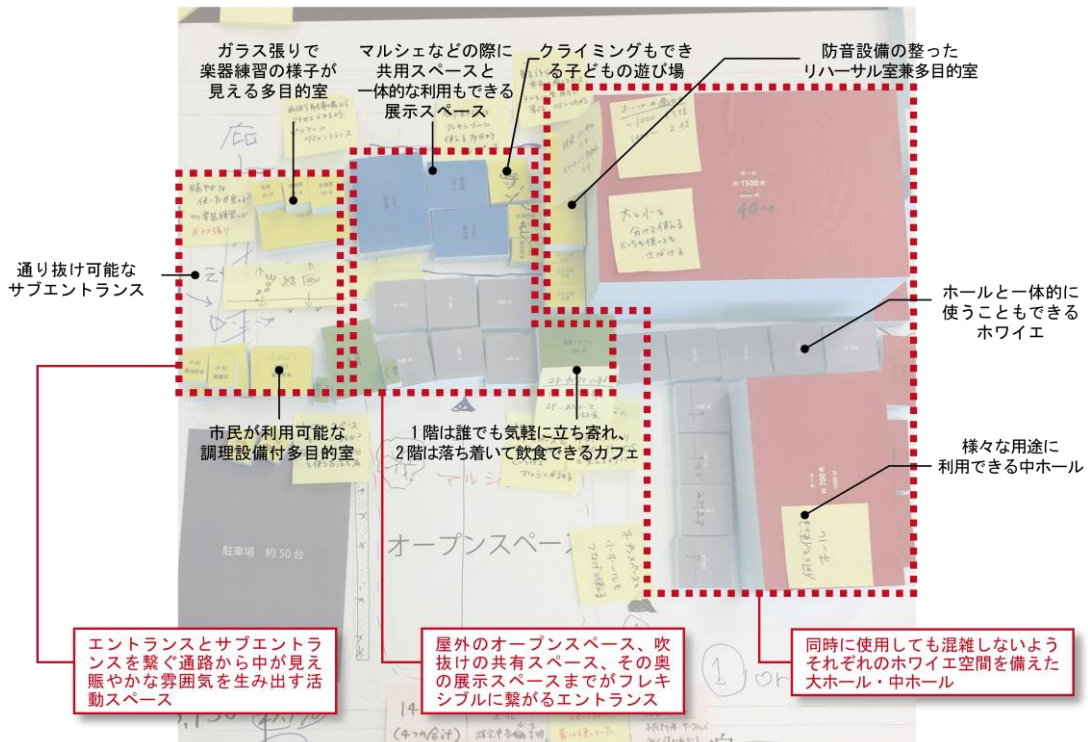


[A グループ]議事要旨

<次第3 前半>複合対象施設の機能ごとのボリュームの分析

- ・ 文化会館の共用スペースはホールの横に少しあるくらいである。
- ・ 先日、労働福祉センターを使用した際、ホールや会議室があまり稼働してないように見えた。
 - 労働福祉センターのホールが使われているのは、確定申告のときくらいであろう。そのときだけ稼働率が著しく上がっていると思う。
 - 確定申告は、必ずしもホールで行わなくても良いのではないか。新しい施設では、どこで行うべきか見直せば良いと思う。
 - 例えば、確定申告を共用スペースで行うアイデアも考えられるだろう。
 - 確定申告以外の使用方法としては組合の大会などもあるが、基本的に一般市民は使わないと思う。昔は他に場所が無く、労働福祉センターのホールを使っていた。
- ・ 市民会館の会議室も使い勝手が悪いので、利用は他の施設に集中してしまっていると思う。
 - 市民会館の205号室や206号室のような大きな部屋はかなり使われていると思うが、その他の和室など小さい部屋は使われず利用に偏りが生じているように感じる。
 - 昔は結婚式場があったので、よく利用されていたと思う。
 - 新しい施設では小さい部屋はそこまで多く必要ではないだろう。
- ・ 文化会館の会議室は、市民利用としてサークル活動などでかなり使われていると思う。その他、会社の会議や研修、面接などの利用も多い。
- ・ 改めて活動スペースの諸室をみると、会議や研修で利用されるような会議室などの諸室は多くある一方、調理室のような特別な設備のある部屋は少ないように感じる。
- ・ 会議室で歌うなどのように目的と利用が一致していない状態があると思う。諸室と利用目的を一致させることが出来れば諸室の数は削減できるのではないか。
- ・ 多目的な利用であったとしても既存の機能全てを入れるのではなく、施設のコンセプトや理念を念頭に置きながら諸室の在り方を判断していくべきであろう。
 - 非常に重要な指摘であると思う。何をメインにしていくかが、今回の模型でいえば5色の組み合わせの割合となってくるだろう。
- ・ 施設の名前の付け方も重要だと思う。例えば、文化芸術センターと文化センターでは大きく在り方が異なるように感じる。

<次第3 後半>新しい施設の建築ボリュームの検討



■ 議論の流れ

- ① 建物のアプローチやオープンスペースの重要性を確認し、エントランスや諸室のつながり方を考慮して諸室を配置。
- ② エントランス周囲の一体的な利用を重視し、エントランスすぐに共用スペース、北隣に展示スペースを、東隣にカフェを配置。
- ③ 市民活動における諸室の使われ方と見え方を重視し、活動スペースを建物西面にサブエントランスを配し、そこに至る通路沿いとその上の階に配置。
- ④ 大ホール・小ホールの高さや運用方法について議論し、大ホールは北側、中ホールは南側とし、その周囲にそれぞれ共用スペースを配置。
- ⑤ 調理室や子どものスペース、リハーサルなど、より具体的な諸室の使われ方について議論し、それぞれをサブエントランス南の多目的室内、展示スペース東側、大ホール2階西側に配置。

■ 活動スペース（黄）について

- ・ サブエントランスに入ると楽器の練習風景が見えるなど賑やかな雰囲気があり、そこを通り抜けて共用スペースにつながっていく構成は楽しい体験ができそうである。
- 札幌駅の横にあるヤマハ札幌センターは通路から練習室の風景が見えるが、同じような空間にできると良いだろう。

- 1階は賑やかな活動が見える多目的室で、2階には会議や研修などの会議室がある構成にすると良いのではないか。
- サブエントランス入ってすぐ南にある多目的室は、「週末マルシェ de ライブ」のようなイベント時に市民が使うことのできる調理設備を設けると良いのではないか。ABC クッキングスタジオのように、室外から中の様子が見えるようにすると賑やかな雰囲気にできそうである。
- ホールに隣接して防音装置付きの練習室があると使い勝手が良い。音響の良い多目的室を大ホールの2階に接続して配置するアイデアが考えられる。
→ その際、事業アイデアで検討していた「あなたに魅せる公開リハーサル」のように、リハーサルの様子が共用スペースから見えると良いのではないか。

■ 鑑賞スペース（赤）について

- 大ホールは興行的に成立するように1,500席とし、小ホールは市民利用として使い勝手の良い700席の組み合わせが理想的であると思う。小ホールは、700席程度あれば様々な活動に活用できるが、500席では利用が限定されてしまうと思う。
→ 確かに文化会館の500席は手狭である。
- 高さのある大ホールと高さが比較的低い小ホールの配置については、警察署側に高い大ホールを配置するが良いのではないか。
- 大ホールと小ホールの間には空間を作り、東側に配置するトラックヤードから両ホールへの搬入を行うことができるようにすると良いだろう。
- 700席の小ホールは、基本構想策定時に提示した茅野市民館のように、多目的に利用できるホールのようにできると良いだろう。
- ホールへのエントランスは、小ホール西側にホワイエ空間として共用スペースを配置すると良いのではないか。茅野市民館のような「ホール→ロビー→オープンスペース」とひと続きの使い方も想定できる。
→ ホールの間に共用スペースを設けるアイデアは、両ホールを同時に使う場合にそれぞれのホールの前にある共用スペースがホワイエとして機能し、混雑を防ぐことができるメリットも考えられる。

■ 展示スペース（青）について

- エントランスから共用スペースの吹抜けがあり、その奥には何があれば良いか。例えば東広島芸術文化ホールのように展示スペースを配置し利用者を誘う構成や、活動スペースを置いて賑やかな雰囲気を演出する構成も可能だろう。
→ 活動スペースはサークルなど、利用者が限定された使われ方になるように思われるが、展示スペースであれば1年に数回しか訪れない利用者にとっても気軽に立ち寄ることができるので展示スペースの方が良いと思う。

- ・ 共用スペース奥の展示スペースは区切らずにフレキシブルな空間として、雨天時でもイベントが出来るようにしておく方が良いだろう。屋外で行う「週末マルシェ de ライブ」のようなイベントも、屋内にも活動が広がると良いだろう。
- ・ 子どもの遊ぶスペースは、保育園児にも配慮して壁のある空間が良いので、展示スペースの東側、大ホールの隣に置き、その壁をロッククライミングで遊べるようにしても良いのではないかな。

■ 窓口スペース（緑）について

- ・ エントランスを入ると吹抜けの共用スペースが広がり、その東側は外部の人も利用しやすいカフェにつながる配置とすると良いのではないかな。
- ・ カフェは2階席も設け、1階は気軽に立ち寄れる場とし、2階は落ち着いて飲食のできる場とするアイデアが考えられる。
→ 2階のカフェスペースは、事業アイデアにある「トワイライトカフェ・プレミアムシート」のようなイメージだろう。

■ 共用スペース（灰）について

- ・ エントランスの配置は2とおりあり、L字コーナーの南面から入るものと、西面から入るものである。南面の方であれば活動スペースなどの機能につながり、西面の方であれば正面にホールがありホワイエにつながるような位置関係になるだろう。
→ エントランスについては、駐車場が見えてもつまらないので、やはり緑豊かなオープンスペースと連続するようにして、夏は外で飲食もできるようにするため、南面から入る方が良いと思う。
→ メインエントランスをどこにするかで、オープンスペースの在り方も変わってくると思う。
- ・ エントランス周りに「週末マルシェ de ライブ」のようなイベントができるようなスペースがあると良い。
→ 共用スペースは外のオープンスペースと一体的に使えると良いだろう。
- ・ Kitara にもあるように建物西側にサブエントランスを設け、そこにバスも停まるようにし、屋内にはそこまで通り抜けられる通路を配置すると便利である。
- ・ ホール周りの共用スペースは2階も設けると上下のつながりができると思う。また、テラスも設けるとオープンスペースとのつながり方も豊かになるのではないかな。

表 各機能スペースの配分

| 合計 | 活動 | 鑑賞 | 展示 | 窓口 | 共用 |
|-----------------------|----------------------|----------------------|--------------------|--------------------|----------------------|
| 13,380 m ² | 1,655 m ² | 6,750 m ² | 855 m ² | 670 m ² | 3,450 m ² |
| 100.0% | 12.3% | 50.4% | 6.3% | 5.0% | 25.7% |

